

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ロイヤルクイーンズパーク吹	階数	地上9F
建設地	大阪府吹田市片山町1丁目2395-6	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	56人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年7月 予定	評価の実施日	2017年9月25日
敷地面積	400㎡	作成者	株式会社アズサ設計コンサルタント 河野
建築面積	272㎡	確認日	2017年9月25日
延床面積	2,168㎡	確認者	村岡建築事務所 村岡 稔



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	新築のワンルームマンションである。植栽を設け景観・周囲環境への調和を図った。	
その他	特になし。	
Q1 室内環境	F☆☆☆の建材を使用し、室内環境の向上に努めた。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	外壁仕上げ材や内装仕上げ材に耐用年数の長い材料を採用し、維持管理性の向上を図った。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	隣地境界沿いに植栽を設け、良好な景観を形成するように努めた。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	照明器具はLEDを採用し、省エネルギー化に努めた。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上材を容易に分別しやすいように、下地材にLGSを使用した。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	適切な量の駐車・駐輪スペースを確保し、交通負荷の抑制に努めた。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0080

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)ロイヤルクイーンズパーク吹田片山町 新築工事					
	建設地	大阪府吹田市片山町1丁目2395-6					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					3	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					2	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外	

【評価項目】							
省エネルギー対策		① CO2削減					
省エネ対策		② 省エネ対策					
項目		評価内容		スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価		3.3	3		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体	1.0	3		
			住戸・宿泊	3.0			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		3.0			
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		2.0			
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		4.2			
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		3.0			
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.0			
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。		報告する 報告しない	-		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策					
項目		評価内容		スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価		1.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価		3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価		2.0			
その他							
先進的技術の導入		技術の名称		考慮事項			
特に配慮した事項							